

# ケーススタディ

(施工事例)

配管、鋼材  
防食

工事名	配管、鋼材防食
施工範囲	配管架台部と柱及び基礎部
使用製品	ペトロラタム系防食テープ（デンシルテープ）



## 問題点：

湿度や化学的雰囲気の場合にはサビの発生は避けられない。塗装にて対応しても配管を支える箇所は、湿気がたまりやすく乾燥しないので腐食の進行が早く、放置すると配管に穴が開いて重大な事故や操業に支障がでる原因となる。又工場を支える柱は金属腐食に伴い、モルタル基礎部がサビによって欠落して崩壊の恐れも在る。

## 解決策：

配管の架台部に防食効果の持続性が長い、ペトロラタム系防食テープを巻きつける。  
さらに配管の動きによってこすれを防止するためSUS板を巻き付けバンドで止める処理をする。  
鋼材は基礎とともにペトロラタム系防食テープで覆い、仕上げに耐薬品に優れた塗装をして保護する。  
ペトロラタム系マスチックにて基礎と底板の段差をなくし、ペトロラタム系テープを貼り付け防水、防食処理をする。さらに立ち上がりを帯状に貼り付け溶接線を防食する。

## 結果・効果：

約30年前に防食施工した配管架台部の切開をした結果、ペトロラタムテープの防食効果、柔軟性は維持されて、配管のサビ発生は見られなかった。  
カッター等で切開できるので部分点検、復旧も容易であった。